



越前町
ECHIZEN

2010. 8 . 1
vol.21

議会だより



おもな内容

- ☆ 6月定例会報告 2
- ☆ 一般質問 3
- ☆ 議会活動 9

国道305号越前バイパス
(道口～茂原間) 開通式

発行・越前町議会 発行責任者・議長 吉村春男 編集・議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0778) 34-1234 (代)

六月定例会報告

招集 6月21日
会期 3日間
(21日～23日)

議案審議結果

次の議案が審議され、
すべて原案通り可決・承認されました。

- ① 議案…9件
- ② 報告…4件
- ③ 意見書…1件

①議案(抜粋)

●越前町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業及び育児のための部分休業をすることができるとする範囲を拡大する必要があるため所要の改正を行うものです。

●越前町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

育児休業、介護休業等

育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正及び地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部が改正されたことに伴い、時間外勤務の制限について新設されたため、所要の改正を行うものです。

●越前町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について

「越前町乳幼児医療費の助成に関する条例」を「越前町子ども医療費の助成に関する条例」に改め、対象年齢を小学校3年生までとする改正を行うものです。

●平成22年度越前町一般会計補正予算(3号)
(補正額)
2億9,155万円

(予算総額)

125億6,722万円

主な追加予算

◎民生費

○子ども医療費助成事業
医療費の助成を拡充し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る
対象児童数2,000人
(約700人増)

◎衛生費

○日本脳炎予防接種委託料
国の方針に合わせ、第1期対象者(3～4歳児)に日本脳炎の予防接種を丹生郡医師会に委託し実施する

対象児数 400人
○越前海岸漂着物回収処理事業
対象区域 16km

◎農林水産業費

○明日の地域農業を支える担い手条件整備事業補助金

○漁協経営基盤強化交付金

○町管理漁港町単独改良工事費

茂原漁港

◎商工費

○太鼓展示館解体工事費
織田地係

◎土木費

○宮崎地区格納庫解体工事費
江波地係

○町道改良工事費(通学路における歩道を整備)

町道気比庄中学校線
町道北岩倉線

◎消防費

○コミュニティ助成事業
助成金

「江波区防災会」と「打越地区自主防災組織」が実

施する防災資機材の整備に対する助成金

◎教育費

○旧朝日中学校跡駐車場整備工事

○えちぜんスポーツクラブ補助金

○2010国際交流ホッケー大会補助金

●平成22年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
(補正額)
411万3千円

(予算総額)

20億5,155万7千円

高額医療合算介護サービス事業負担金

●平成22年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
(補正額)

1,447万円

(予算総額)
9億8,251万4千円

公共下水道施設等統廃合調査検討業務委託料

●財産の無償譲渡について

旧越前町織田児童館を織田大区に対し無償譲渡するものです。

●訴えの提起について

町有地(厨地係)の明渡しと損害賠償金の支払を命ずる判決を求めるため、訴えを提起するものです。

③意見書

●活力ある農業と農村地域社会の発展に向けた意見書の発議を可決、当議会は、関係行政庁に対し、意見書を提出しました。

6月定例会

一般質問

天王川の水は 汚染されていないか



笠原 秀樹

問

天王川上流の福井市滝波地係、別所

地係に、産業廃棄物の埋立地があり、連日産業廃棄物を運ぶダンプカーが出入りしている。

私は、天王川の水質汚染が気にかかり、現地に

行ってきた。
現在、高いコンクリートの擁壁で囲まれ、膨大なごみが運び込まれており、地域住民の人は、「福井市と合併したが何も良くならず、毎日膨大なごみが運び込まれ、ここはごみ捨て場になってしまった。これから先もまだまだ増えていくので

はないか」と危惧していた。

風向きによっては、異臭が広がり、頭痛や吐き気などの体調不良を訴える人もいるとのことである。悪臭は、感覚公害として生活に密着した問題であり、今後、厳しくチェックしていく必要があると思う。

私は、産業廃棄物に含まれている有害な物資が地下水に溶け込み、天谷川や志津川から天王川へと流れ込むことも考えられ、天王川の汚染がとても気がかりである。

なぜなら、天王川の水は、五ヶ・二ヶ・七郷の各用水からさらに分水されて、水田や畑の水として利用されているからであり、農業生産者にとってとても心配である。

河川清掃、環境の整備など天王川美化運動に積極的取り組み組んでいる私

ちにとって、上流に汚染源があることは許されることでない。

本町では、天王川の水質管理をどのように実施しているのか。検査などを行っているのであれば、その結果を公表すべきと考えるがいかがか。

また、別所地係の最終処分場の監視パトロール状況や最終処分場の建設・増設に対する町長の所見を伺いたい。

答

町長

天王川の水質検査は、平成3年度から毎年、年2回、多い時で年3回

実施しています。天王川に限らず、町内の全ての河川で年2回の水質検査を行っています。

水質検査の結果は、環境省の定める「水質汚濁に係る環境基準値」を十分に満たしており、農業用水として利用が可能です。検査結果は、本町のホームページで公開しています。

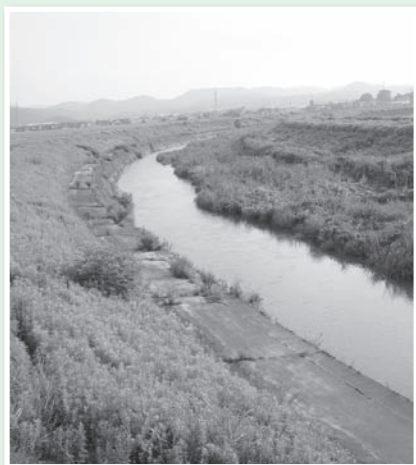
また、最終処分場の建設・増設については、県の最終処分場建設要綱があり、建設等をする際には、環境法令に係る届出書や地元住民の同意書、意見書が必要です。

当然、本町に対しても照会があると思いますので、十分に検討し、最終処分場の建設、増設に反対してまいります。

また、別所地係の最終処分場の監視パトロールは、本町が毎週1回、平成21年度は55回、福井県健康福祉センターが年113回、福井市役所も67回実施し、搬入される産業廃棄物の種類や臭気の確認を行っています。

さらに、業者に委託して、地下水を年1回・浸透水を年3回それぞれ水質検査を実施していますが、現在までに、不合格という数値は一度も出ていません。

また、地域住民と本町を含む関係行政機関で懇話会を開き、処分場の状況報告や問題点について話し合いを行っています。
町では、今後とも生活環境、特に河川環境については、水質検査を含め厳しく監視して、安心して住める、住みよいまちづくりを進めてまいります。



天王川

耕作放棄地の今後の対応は



山本 清道

問

今日、農業農村を取り巻く環境は大変厳しく深刻な状況下にある。

農家の高齢化や米価の低下による農業所得の激減、農産物の国際競争力の低下、世帯構成の変化、安価な加工食品の輸入などが原因で、先祖が苦勞して守ってきた農地は次々と耕作放棄地に変わっている。

本県では、平成20年度に1,150 haに広がり、平成7年度の2倍以上に増加している。

自己耕作から離れた農地所有者は、地域農業への関心は薄れ、作りもせ

ず、貸しもしせずの耕作放棄者となっている。

今後、耕作放棄地をこれ以上増やさないため、耕作放棄者に対し農地所有者としての責務と農地や地域農業への関心を促す農地政策が必要であると思う。

本町ではどのような農地政策を描いているのか。次の、4点について町長の所見を伺いたい。

- ①農地面積に占める耕作放棄地の割合と過去5年間の推移と実態。
- ②なぜ耕作放棄地は発生するのか、その原因。
- ③耕作放棄地の今後の推移と見通し。
- ④耕作放棄地の解消に向けた町の取り組み。

答

町長

①平成17年の農林業センサスによると、本

町の農地面積1,430 haのうち、耕作放棄地は143 haで、全体の約1割となっています。

また、平成22年の農林業センサスの統計値が公表されていませので、本町が20年度に実施した実態調査と比較した場合、平成17年より面積で25 ha、率にして18%減少しています。

②耕作放棄地の発生原因として、農業従事者の高齢化や農業規模の縮小、離農が進んでおり、それに対する担い手の受け皿が少ないため、耕作放棄地の増加の原因になっていると思います。

また、中山間地域の未整備の圃場、排水の不良な圃場などの生産条件が非常に不利な圃場で、耕作放棄地が顕著化していると思います。

③今後も米価の低迷が続くことや農業従事者の高齢化、担い手不足が続くことが予測されます。

加えて、近年は集落の

過疎化やイノシシなどの鳥獣害などが重なり、これから、中山間地域において耕作放棄が進んでいくのではないかと懸念しています。

④耕作放棄地を抑制するための政策として、国は今年度から米生産農家に對して「米個別所得補償モデル事業」を行っています。この制度は米価の低下に対して価格補てんを行うもので、米生産農家の経営状況を安定させ、その結果、耕作放棄地の解消・抑制につながっていくものと期待しています。

また、担い手が不足していることが大きな原因のひとつであると思っていますので、平成18年度に策定した「越前町の農業農村振興ビジョン」に則って、集落営農組織・認定農業者などの担い手の育成や担い手に対する農地の集積を行っていきたく

と考えています。

21年度末で集落営農組織が24経営体、認定農業者が30経営体の合わせて54の経営体があります。こうした担い手が耕作している水田の面積は474 haと、本町の水田面積の約4割を占めています。引き続き担い手の育成に力を入れていきたいと考えています。

合わせて、従来の「中山間地域等直接支払制度」や「農地・水・環境保全向上対策事業」の積極的な取り組み、さらに、県が19年度に導入した「地域農業サポート事業」を通して担い手の育成と農地の保全や耕作放棄地の解消、抑制につなげていくこともひとつの方法と考えています。

さらに、農業委員会の農地パトロール制度を活用して、未然に耕作放棄地の農地を担い手に集積していくことや昨年12月の農地法の一部改正で、

遊休農地に対する指導が強化され、農業委員会が遊休農地の所有者に対して、利用促進を図るよう指導・勧告ができるようになりました。

この法律も利用しながら、できるだけ耕作放棄地、遊休農地の解消・抑制に努めていきたいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

意見

今後、農業委員会を通して、耕作放棄地が出ないよう認定農業者や集落営農へ指導していただきたい。



耕作放棄地

森林組合の合併支援と 林業振興施策は



上坂 昭夫

問

管内における丹生森林組合と宮崎森林組合が、12月には新丹生郡森林組合として発足する。

合併の目的は、経営基盤の強化と事業の効率化などであるが、当町の林業振興を踏まえ、合併に向けた森林組合への支援及び当面する林業施策について、町長の考えを求める。

答

町長

両組合の合併支援については、組合の実施

丹生高校の存続は 如何に

問

本町に丹生高校が無くなれば町民の利便性を大きく欠くことになる、「まち」の衰退にも繋がることになる。

また、合併に必要な事務経費の一部も助成していきます。

次に、当面する本町の林業政策については、良質な木材資源の確保や森林の持つ公益的機能の保全を基本とする、造林や下刈り、雪起こし、除間伐などの保育事業を実施しています。

答

教育長

丹生高校では、一人ひとりの生徒の進路の実現、部活動による活性化、地域との連携の3つの柱を教育方針に掲げ、それぞれに数値目標を設定して、活性化に向けた学校運営を行っています。

進学面では、過去3年間毎年、12人の生徒が国公立大学へ進学していますが、来年は中高一貫教育実施後の最初の卒業生が受験する年に当たり、合格者の大幅なアップに

向け、全教員で指導に取り組んでいます。

また、風紀の面でも学校の指導が行き届き、成果が上がっています。

町では、青雲特待生制度や通学用の路線バスの補助、中高一貫教育事業に関わる丹生高校育成負担金の増額、町内中学校と丹生高校との人的交流の拡大など魅力ある高校の実現に努めています。

そのことにより、保護者の費用の負担軽減や中学生の学力向上、丹生高校と町内中学生との交流が深まり、丹生高校への生徒募集のPR活動も加速するものと考えています。

魅力ある高校の実現には、町民一人ひとりが丹生高校を温かく見守り、その存続のために、教育委員会のもとより、それぞれの立場で不断の活動をしていただくことが肝要であると考えています。

そして、丹生高校の自助努力、本町のバックアップ、町民の方の協力がかみ合うことで、丹生

高校の存続に明るい兆しが見えてくると確信しています。

講師派遣の目的は

問

朝日中学校の2年生が丹生高校の授業に参加したと聞くが、その実施と講師を朝日中学校以外の宮崎・織田・越前中学校に派遣する目的及び効果をどこにしているのか伺いたい。

答

教育長

丹生高校での体験入学は、保護者も含め多くの方に参加いただき、学校に対しての理解が深まったと伺っています。

町では本年度、中高一貫教育事業の中で、3人の講師を採用し、県からの加配教員が設置されている朝日中学校を除いて、宮崎・織田・越前中学校にひとりずつ配置しました。

その講師には、様々な情報の交換や丹生高校への進学の啓蒙も兼ねて、

1週間に1日だけ丹生高校へ行き、丹生高校と地元中学校との架け橋的役割を担っていただいています。

教育委員会で講師の活動状況の確認をしたところ、現在問題点もなく順調に進んでいるとの報告を受けています。丹生高校や各中学校からも、よく頑張ってもらっているとの報告もいただいていますので、現段階では、事前に想定していたような形で機能していると考えています。



丹生高校

町政への提案がしやすい 環境づくりを



木村 繁

境整備が必要であると思
うが、この方法を本町で
も実施してみてもどうか。

答

町長

問 埼玉県のある町で、
広報紙に料金受取
人払いのがきをつけ住
民の意見を募集した結果、
意見やアイデアが多数寄
せられ、町では今後も定
期的な実施を検討してい
るそうである。

同様に、県内の農業団
体が発行している広報紙
でも、料金受取人払いの
はがきの後ろに意見やア
イデアを書くようになって
いる。合わせて、この
広報紙では意見について
の回答も載せている。
町民の意見を町政に反
映するには、意見を言い
やすい、提案しやすい環

私は、住民から選
ばれた議員からの意見や
提案を参考にするのが、
本来の議会制民主主義だ
と考えています。それを
前提にした上で、本町に
はいろいろな審議会や委
員会があり、区長会も年
に3回開催していますの
で、いろいろと意見を聞
く機会があります。
また、コミュニティセ
ンター構想の中で、本年
度中に各地区の各種団
体の代表や地域住民で構
成するコミュニティセン
ター運営委員会の設立に
向け準備を進めており、
来年4月1日からコミュ
ニティセンターとして機
能させる考えです。

コミュニティセンター
運営委員会で、それぞれ
の地区の課題や町政に対
する意見を町政に反映さ
せていく考えを持ってい
ますので、あえて今、広報
紙の切り取り方式のはが
きでの意見聴取や募集は
当面考えていません。
また、役場にある意見
箱にもいろいろな意見が
寄せられていますが、建
設的な意見は少なく、そ
れを整理整頓して回答し
たり反映させるのはなか
なか難しいと思います。
本町のホームページで
も意見を募集しています
し、現在、いろいろな意見
をいただく場もありますの
で、十分ではないかと考
えています。

問

庁舎の玄関にある
意見箱には、苦情
などのいろいろな意見
が寄せられていると思う。
苦情を受けとめるのも行
政の努めであり、はがき
をつけることで、中学生
や高校生、大学生の若い

人から思いもつかないよ
うなアイデアが出てくる
期待感もある。
是非、今後考えていた
だけないか。

答

町長

若い人の意見が反
映される場を作ってい
きたいという思いがあり、
コミュニティセンター運
営委員会のメンバーを選
定する際、若い人を委員
に登用し意見を是非聞き
たいと考えています。議
員ご指摘のはがきの問題
も含め、今後検討してい
きたいと思います。



役場玄関に設置してある意見箱

職員派遣制度を 導入したらどうか

問

新潟県に、4町村
で職員の相互派遣
を実施している自治体が
ある。目的は、行政手法
の長所を学びとるもので、
一般職2人と保育士1人
を2年間派遣している。
各自自治体で、行政手法
は違い長所も短所もある
と思う。県内外の自治体
への職員派遣は有効な研
修方法と考える。本町で
も、導入してみてもどう
か。

答

町長

本町では、特に若
手や中堅職員に対し、専
門的な知識や政策の立案
能力のアップ、直面する
課題に即応できる職員、
他の自治体職員との人事
交流を通じ視野を広げる
ことは非常に大事である
と考え、平成18年から福
井県に職員を派遣してい
ます。

さらに、福井県自治研

修所での研修や千葉市の
市町村職員中央研修所、
大津市の市町村国際文化
研修センター、総務省の
自治大学などに職員を派
遣し、キャリアアップに
つなげたいと思っています。
す。

議員提案のように、県
内のいろいろな自治体と
相互派遣をして、お互い
に特色のあるまちづくり
や行政のノウハウの相互
活用は非常に大事ですの
で、今後、検討していきた
いと思います。

問

合併後職員間の融
和は図られたと思
うので、今後、他の自治体
との職員の相互研修を是
非行っていたきたい。

答

町長

自治体間の職員の
相互派遣で、人事交流を
通して視野を広げること
は非常に大事なことで
はないかと思えますので、
是非考えていきたいと思
います。

均衡ある地域の発展について



北野 正勝

も受け入れられてきた。

そのシンボルの存在であった旧宮崎村役場庁舎を解体した理由が、本当に妥当だったのか私は、未だに疑問を感じている。

福井工業大学の吉田純一教授は、その著書に

問 当町における地域の均衡ある発展について、過日、取り壊した旧宮崎村役場庁舎を例として伺う。

旧宮崎村役場庁舎は、20年近い歳月をかけ綿密な構想と計画のもとに完成した「越前陶芸村」のシンボルの建築物であった。

建設後、数々の表彰に輝き、ここに住む人々にゆとりある生活と環境創造への意識を高め、住民に大きな自信と誇りをもたらし続けた。さらに、合併後も切妻と白壁のたずまいの貴重な町並み景観やアメニティ環境は、新越前町の多くの町民に

解体をどの辺まで進めていくつもりなのか。

民主主義とは全体主義

あるいは独裁から比べて誠に効率が悪いものですが、議会や地域住民に対し、どのように理解を求めていくのか町長の所見を伺いたい。

町長 新越前町の初代町長に着任した時から、4町村の一体化に向けた新町のまちづくりに取り組んで行きたいと考えていましたので、旧町村の行政区域というものは消えていきました。というより、意識的に消す努力をして来しました。

答 町長 新越前町の初代町長に着任した時から、4町村の一体化に向けた新町のまちづくりに取り組んで行きたいと考えています。

私はまちづくりの指針として、6つの基本構想を考えています。

1つ目は、快適で安全に住めるまちづくり、2つ目が、健康で安心して暮らせるまちづくり、3つ目が、人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり、4つ目が、元気で活力み

なぎるまちづくり、5つ目が、個性豊かで誇りのもてるまちづくり、6つ目は、町民に開かれた健全行財政のまちづくりです。

行財政改革の一環として、旧宮崎村の役場庁舎や生涯学習センター、自然休養村管理センター等をスクラップしてまとめるといふ合理的な考え方しか持っていません。ワインカラーのレンガ造りという外観だけで、老朽化した建物を歴史的な建造物であると私は思いません。

私は、新しい越前町全体を俯瞰した物の考え方、まちづくりの考え方、そして、町なかにある特色を生かしたまちづくりということを常に考えています。

旧行政区域ということ念頭に置いて考えると、どうしても地域間でのエゴが入ってしまうので、私はそうしたエゴを払拭したいという立場で、対

等な立場で、合併した越前町全体のまちづくりを考えてきたつもりです。

私は、均衡ある発展というより、それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりが必要だと考えています。

しかし、周囲の方が迷惑している国道365号や305号の整備は急務であると反省しています。

朝日を中心としたまちづくりは、丹生高校や役場の本庁、県の機関があり、越前町の表玄関に当たりますので、朝日を中心としたまちづくりはごく自然な考え方だと思います。

私は、新しい越前町全体を俯瞰した物の考え方、まちづくりの考え方、そして、町なかにある特色を生かしたまちづくりということを常に考えています。

私は、新しい越前町全体を俯瞰した物の考え方、まちづくりの考え方、そして、町なかにある特色を生かしたまちづくりということを常に考えています。

私は、新しい越前町全体を俯瞰した物の考え方、まちづくりの考え方、そして、町なかにある特色を生かしたまちづくりということを常に考えています。

次の世代に引き継ぐまちづくり

まちづくり

問

吉田教授は「近年の激しい時代の変革は、各地に残る貴重な町並みを変貌させ、さらにそこに暮らした人々の

歴史もいつしか私たちの記憶から消し去ろうとしているが、次の世代に引き継ぐ事に意義がある」とも述べている。

私も先人が残した遺跡や功績は、決してスクラップするのではなく、次の世代に引き継ぎ、踏襲してみんなで頑張っていくことが町の安全・安心に繋がりに地域の発展になると思うが、町長の所見を伺いたい。

答 町長

私は、そのような意見にくみするつもりはありません。時代は急速に変化しています。

むしろ、不要なものは確実にスクラップをし、合理化を進めていくことが大事であると思います。私と議員とでは、恐らく考え方について違いがあると思います。

私の歴史的建造物に対する考え方については、また次の機会にお話ししたいと思います。

「越前地区地域活性化基金」 の有効な使い方



山野 幹 夫

も、平成21年度末には約3億9千万円と当初の半分ほどとなった。

その残り少ない基金に対し、昨年越前町漁業協同組合から、再建整備に對する3億円の支援要請があった。

平成17年に合併した際、旧越前町から「越前地区地域活性化基金」として、8億5千万円が新町へ移行された。

問

この基金は、越前地区の活性化を図る事業に充てるためのもので、条例で使途が定められており、今日までに、玉川漁港改修工事や左右地区の水仙畑作業道取付工事、せいこがに金型製作費、農道買収費など越前地区の整備に充当してきた。

その結果基金の残高

止めて、基金1億円を繰越欠損金に充て、漁業者の出資金約4億3千万円を減資して、欠損補填金に充てるとの説明があったが、漁業者泣かせであった。

今回の支援要請は、漁

獲高の低迷による運営の行き詰まりではなく、A水産会社約2億6千万円、B社約2億5千万円、C社約1億4千万円と、3社の販売代金の未収金が合計で約6億5千万円にも膨れ上がり、資金が行き詰まったものである。

県漁連や信漁連は管理する立場にありながら、この事態を見過ごしてきた責任は重いと思うが、誰もその責任を取ろうとしない。それどころか、活性化基金を当てにする始末である。

漁協は平成7年にも再建支援を受けており、今回で2度目である。町も7年から昨年までの15年

間で、利子補給を約3億円もしている。町民の血税を充てて再建したにも関わらず、今回、また同じ問題を引き起こすとは職務怠慢である。町長は今までのことについて、全部知っていて基金を使うのか。

私は再建支援を求めるのであれば、県を窓口として約40億円ある漁業補償金を充てるのが本筋で、本当の意味での漁業者救済補償になると思う。

町長は、西川知事や他の漁業組合長にお願いして、漁業補償金を使えるようもう一度努力してみようという一度努力してやる気はないか。

地域活性化基金の使途については、越前地区議員以外にも有識者等を入れて議論すべきだと思う。

越前地区議員5人と組合長、県漁連、信漁連、町関係者で協議した際、漁協が打ち出した改善策が実行されているかどうか

答

町長

本町は福井県の漁獲高の3分の1を占める漁業の町であり、漁業は越前町の重要な基幹産業の一つです。

越前町漁業協同組合が経営難に陥っている時、これを救済することは本町として当然考えなければならぬ重大問題です。

私は政治的な観点から、漁協の再建に協力しなければならぬと決意しました。

しかし、漁業補償金には手をつけられないという話を漁連関係者から聞いていますので、県庁へ要請に行くということは

考えていません。

私は、「越前地区の地域活性化基金条例」の第6条の6「その他の項目として越前地区の地域の活性化のために必要な事業」に、今回の件は含まれていると判断しました。

基金を使う場合、理事者と議員と協議した上で決めるべきであると認識しています。

また、今回の再建計画は県や県漁連、信漁連、漁協の理事の方々で立ち上げており、委員会からの要請を踏まえた上で、政治的に判断しました。

再建計画に協力して、10年の間に経済未収金や管理債権の回収をするという努力に期待したいと思っています。

是非、越前町漁業協同組合の窮状をご理解いただきたいと思います。

平成22年度 越前町議会議員行政視察

平成22年6月8日から11日にかけて、議員19名・副町長・事務局の総勢22名で、越前町議会議員の行政視察を行いました。

今や社会は、国家間の枠を超えた地球規模の大きな枠組みの中で、物事を考えるグローバル化の時代を迎え、急速に変化しています。

このような時代背景を鑑み、日本を取り巻くアジアの核である中国は、将来的に越前町との関わりが予測されるものから、本年度は、中国の文化や歴史を肌で感じ、越前町議会議員としてグロー



東南大学での交流会



東南大学の学生と大学図書館前にて

バルな見識を深めるため、南京市と上海市の行政視察を行いました。

南京市では、国立東南大学を訪問しました。副学長である謝建明教授の計らいで、学生との交流、教育現場の視察、自動車生産工場の視察ほか観光事業の取り組み等の行政視察を行いました。

大学では、南京市の実情や日本との繋がりに関する話を拝聴し、学生との意見交換を行いました。

鼓楼区にある学校（小中一貫校）の現場では、学校の授業風景等を見学した後、英語教育などについての質疑を行いました。



南京市鼓楼区にある学校の
陶壁「和」前で

会も見学し、中国の躍進ぶりを改めて認識したところであります。

越前町議会議員一同、今回の行政視察で知り得たことや感銘を受けたことを幅広く、今後の越前町の発展のために寄与していきたいと思っています。

上海市においては、日本産農産物の販売促進状況について市場視察を実施しました。わずかな時間ではありましたが、上海国際博覧

Nanjing 南京

上海 Shanghai

地方議会改革と 求められる議員の役割

7月2日福井県自治会館で、県内の町議会議員と議会事務局職員約100人が参加し、町議会議員研修会が開催されました。講師に山梨学院大学の江藤俊昭教授を招き、「地方議会改革と求められる議員の役割」と題した講演が行われました。



町議会議員研修会（福井県自治会館）



新しい議会運営のあり方について、大変参考となる有意義な研修会でした。今回の研修で得たものを、今後の議会運営に反映させていきたいと考えています。

町議会議員研修会

7月2日 福井県自治会館 講師 山梨学院大学教授 江藤俊昭教授

現場踏査

6月22日



町有地（厨地係）

6月22日、6月定例会で上程されている議案（訴えの提起）について、議員全員が現地での確認を行いました。



読みやすい議会だよりを目指して 議会広報研修会に参加



講師 芳野政明氏

6月2日福井県自治会館で、芳野政明氏を講師に招き、町議会議員と事務局職員46人が議会広報紙のつくり方について講義を受けました。

本町からも広報委員6人と事務局職員2人が参加し、編集する上での手法などを学びました。

研修では、本町の議会だよりがクリニックを受けました。講師からのアドバイスを、今後の編集活動に活かしていきたいと思っています。

国道305号越前バイパス (道口～茂原間) 開通式

日時：平成22年7月14日（水）



開通を祝う関係者

国道305号の狭隘区間や渋滞解消のため、昭和63年より建設中だった道口～茂原間の工事が完成し、開通式が厨地係で行われました。バイパスの全線開通によって今後、沿道住民の安全性の確保や観光交通の増加による安全性の確保、新設道路沿道の土地利用促進などが期待されます。



西徳寺保育園の園児によるアトラクション

夏、彩る 越前夏まつり2010

県内の先陣を切って、7月17日に厨のアクティブランドグ
ラウンドで「越前夏まつり2010」が開催されました。
メインステージでは、様々なステージパフォーマンスが披露
されました。毎年恒例の盆踊り大会に続いてフィナーレでは、
カニやタコの
形をした花火
や高さ600
mの花火も
打ちあげられ、
1万発の花火
が越前の夜空
を彩りました。



夏、彩る。

海水浴シーズンの幕開け



ヒラメの稚魚放流

7月1日に厨の長須浜海水浴場で、海開き行事と豊漁祭が行われました。
今年の海水浴シーズンに先がけ、議長をはじめ議員も多数参加し、越前海岸での無事故を祈願しました。
神事後、豊漁祭に移り、地元の園児や出席者によるヒラメの稚魚1,000匹の放流が行なわれ、地元の園児が願い事を書いた白い風船130個を一斉に空に放ち、海開きに華をそえました。



第30回越前陶芸まつりが5月29日から31日までの3日間、越前陶芸村で開催されました。越前陶芸まつりも今年で30回を数え、餅手渡し式や鯖江・丹生消防音楽隊のドリル演奏、株式会社福井村田製作所のセイサクくん・セイコちゃんのロボット

来場者でにぎわった 第30回越前陶芸まつり



公開などの記念イベントが行われました。今年 は 好天 にも 恵ま れ、陶器市や物産市、恒例のさつきあげ茶会は、県内外から大勢の来場者でにぎわいました。



第30回越前陶芸まつり（宮崎地区）

永年在職議員に対し、全国と県町村議会議長の会定期総会において自治功労者表彰が行なわれ、当議会からも4人の議員が表彰を受けました。受賞議員に対して3月定例会終了後、表彰伝達式を行いました。

自治功労者 表彰伝達式



おめでとう
ございます

して、吉村春男議長が全国町村議会議長会表彰を、10年以上の在職者として、北瀬良春議員・北島忠幸議員・島田欽一議員が福井県町村議会議長会表彰を受賞しました。



表彰伝達式

9月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

編集後記

夏の夜空に大きな光の華。日本海の夜空を華やかに彩る「越前夏まつり2010」のファイナール飾った花火の美しさは格別です。

今年「越前スカイツリー」も海上に出現、大勢の観客がその迫力と美しさに感動しました。

越前町の祭りもいよいよ後半戦。これからは、「あさひまつり」「O・T・A・I・K・O響」が開催されます。

みなさんも家族揃って、越前の夏を満喫してみたいかがでしょうか。

広報委員会では、皆様のご意見・ご投稿をお待ちしています。

（村上）

議会広報特別委員会

委員長 安井 賢二
副委員長 黒田 文男
委員 上杉 力
鈴木 文夫
北島 忠幸
村上 義人
島田 欽一
内藤 俊三

〃 〃 〃 〃 〃